

営業の概況(連結ベース)

当中間連結会計期間の業績につきましては、資金の効率的な運用・調達、及び、経営全般の一層の合理化に努めるとともに、資産の健全性確保のために諸償却並びに諸引当金の繰入を行いました結果、以下のとおりとなりました。

1. 主要勘定の概況

預金等(譲渡性預金を含む)は、前連結会計年度末に比べ法人、個人預金共に増加したことにより40,160百万円増加して、当中間連結会計期間末残高は4,041,248百万円(うち預金は3,922,450百万円)となりました。一方、貸出金は、主として事業性貸出や地方公共団体向け貸出の減少により58,505百万円減少して2,709,601百万円、有価証券は、国債、地方債、社債の増加により26,866百万円増加して1,412,392百万円となりました。また、総資産の当中間連結会計期間末残高は4,459,505百万円で前連結会計年度末に比べて39,025百万円の増加、純資産額の同残高は253,424百万円で同4,106百万円の減少となりました。

2. 損益の状況

損益については、市場金利の低下により資金運用収益は前年同期比1,146百万円の減少、その他業務収益は国債等債券売却益等の減少により同532百万円の減少となったものの、当中間連結会計期間より従来特別利益に計上していた償却債権取立益938百万円及び投資損失引当金戻入益493百万円がその他経常収益に計上されることとなったため、経常収益は46,516百万円と同264百万円の減少にとどまりました。

一方、費用面は、資金調達費用(前年同期比1,136百万円減少)、営業経費(同323百万円減少)に加え、貸倒引当金繰入額や株式等償却の減少を主因としてその他経常費用が同3,235百万円減少したことから、前年同期比3,935百万円減少の37,876百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比3,671百万円増益の8,640百万円、中間純利益は同3,570百万円増益の5,276百万円となりました。

3. キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ5,100百万円増加し、59,311百万円となりました。

増減額の前年同期比では、8,274百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の営業活動による資金は47,781百万円の増加で、前年同期比11,542百万円の減少となりました。この主な要因は、コールローン等の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の投資活動に使用した資金(資金の減少)は41,607百万円で前年同期比19,773百万円の減少となりました。この主な要因は、有価証券の取得による支出の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間中の財務活動に使用した資金(資金の減少)は1,097百万円で前年同期比3百万円の減少となりました。この主な要因は、自己株式の取得による支出の減少であります。

主要な経営指標等の推移(連結)

	単 位	平成21年度中間期	平成22年度中間期	平成23年度中間期	平成21年度	平成22年度
		(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
連結経常収益	百万円	46,627	46,781	46,516	96,662	91,812
連結経常利益	百万円	5,482	4,969	8,640	8,881	11,842
連結中間(当期)純利益	百万円	2,766	1,705	5,276	4,322	4,676
連結中間包括利益	百万円	—	△ 339	△ 2,752	—	—
連結包括利益	百万円	—	—	—	—	1,997
連結純資産額	百万円	245,012	256,296	253,424	257,738	257,531
連結総資産額	百万円	4,216,777	4,344,656	4,459,505	4,302,261	4,420,479
1株当たり純資産額	円	841.83	883.03	871.28	889.50	886.58
1株当たり中間(当期)純利益金額	円	10.47	6.46	19.99	16.37	17.71
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額	円	—	—	—	—	—
連結自己資本比率(国際統一基準)	%	12.31	13.27	14.00	12.42	13.01
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	102,803	59,323	47,781	145,573	72,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 126,045	△ 61,381	△ 41,607	△ 162,053	△ 65,581
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	18,885	△ 1,101	△ 1,097	9,780	△ 2,204
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	百万円	52,005	46,491	59,311	49,666	54,211
従業員数 [外、平均臨時従業員数]	人	2,713 [1,134]	2,733 [1,121]	2,675 [1,152]	2,638 [1,138]	2,650 [1,121]

(注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額は潜在株式がないため記載しておりません。

3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国際統一基準を採用しております。

4. 従業員数は出向者を除いた就業人員であり、[]内は嘱託及び臨時雇員の期中平均人員(外書き)であります。

5. 平成21年度中間連結会計期間及び平成22年度中間連結会計期間の平均臨時従業員数は、第2四半期連結会計期間における平均雇用人員数であります。

6. 平成22年度中間連結会計期間の連結中間包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、適及処理をしております。